

最近発掘された遺跡

V

原遺跡

原遺跡は名取市田高字原にあります。
（現在、東京インテリアやイトーヨーカドー、スーパー銭湯極楽湯のあるあたり一帯）

原遺跡のある場所は名取市の中でも住宅や大きな店などがたくさん建ってきているところでもあり、これまで20回以上も発掘調査が行われています。この遺跡では弥生時代から江戸時代ごろまでの遺構や遺物が見つかりました。

特に弥生時代の土器や石路などがたくさん見つかり、当時の人々の暮らしの様子が少しずつ分かってきています。

今回の展示では、弥生時代の遺物を中心に紹介しています。

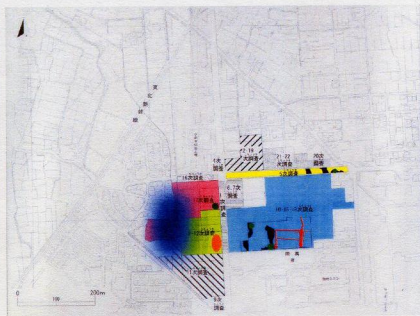
V-1-①



V-1-②

遺構配置図

V-1-③



V-1-③

遺構配置図の説明

V-1-④

- 旧河道**
 古い川筋。遺跡群で育つた新河道は、田高字での川の改修が原因で、同じ川筋だが水が流れ止まったと推定されます。
- 遺物密集層**
 遺物の多くを埋もれ、川に流れてなくなった土器、弥生時代の土器など、弥生時代の生活より、くぼんだ土器などを通じて知られています。
- 土器層**
 土器が作られた場所。お釜を作る場所も、作った土器に作られています。
- 縄文時代のお歴敷の跡**
 大きな窪みで築かれた遺構の跡に、弥生時代で生活して、壊した。この窪みから遺構が壊れてお歴敷の跡が分かる。お歴敷の跡は、お歴敷の跡である。お歴敷の跡は、お歴敷の跡である。
- 縄文時代のお歴敷の跡**
 お歴敷の跡は、お歴敷の跡である。お歴敷の跡は、お歴敷の跡である。お歴敷の跡は、お歴敷の跡である。

V-1-④